

## Opensignal、5G グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード 2022 を発表

黎明期の終焉を迎えた世界の 5G ネットワークを徹底比較

Opensignal（本社：ロンドン）は、世界中のオペレーターを比較し、分析結果をまとめた 5G グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード 2022 を発表しました。

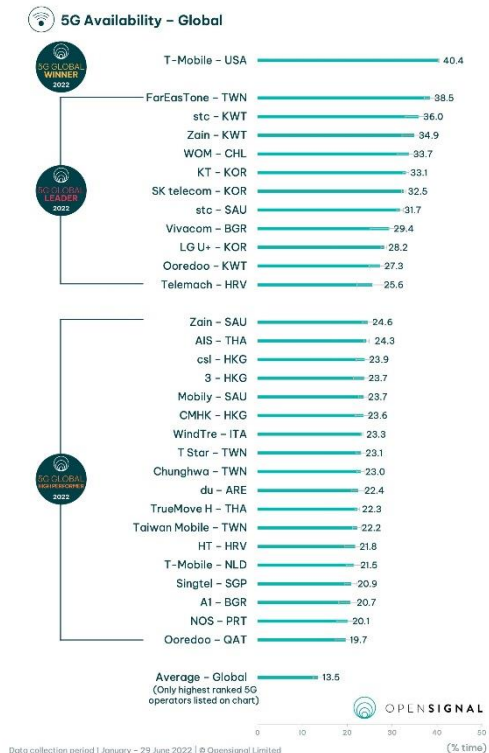


5G のネットワークが初めて世に出てから約 3 年半が経過しました。2019 年 4 月より、一部の市場のオペレーターが 5G ネットワークのエリアを拡大し、さらに多額の投資を 5G スペクトラム取得・展開のために行ってきた一方で、5G が開始してまだ日が浅い市場やまもなく開始する市場もあります。モバイル業界全体の取り組みを把握するため、Opensignal はユーザーの 5G モバイル・ネットワーク・エクスペリエンスをオペレーター別に比較し、オペレーターが世界中でどのように 5G の範囲を広げているのかを分析してきました。

今回のレポートは、これまでと同様に、信頼区間を使って 5G グローバル部門の勝者を決定し、信頼区間から 5G グローバル・リーダーと 5G グローバル・ハイパフォーマーを決定しました。この 2 つはそれぞれスコアの上位 10 社と上位 30 社のオペレーターで構成されます (5G グローバル勝者を除く)。

さらに 4 つの 5G グローバル・インパクト・カテゴリー (ダウンロード・スピード・エクスペリエンス、アップロード・スピード・エクスペリエンス、ゲーム・エクスペリエンス、ビデオ・エクスペリエンス) も含まれています。これら 4 カテゴリーでは、5G 接続時にユーザーが体感したモバイル・エクスペリエンスの向上 (改善) を、前世代のネットワーク技術である 4G と比較して評価します。

## ○ 主な調査結果



### 5G利用率と5G到達率の両方で5Gグローバルを受賞したのは米国 T-Mobile

米国 T-Mobile の5G ユーザーは、最も長くアクティブな5G 接続を使用しただけでなく、5G 信号を検出した場所も最多です。米国 T-Mobile は、40.4%のスコアと10段階評価中 7.8 ポイントの5G 到達率で5G の利用率における勝者となりました。また、2021 年前半から2022 年後半にかけての5G ダウンロード・スピード向上では2位でした。これは1位のクロアチアのHTと比較して、98.9%、5.2%の増加です。

### 世界最速の5Gダウンロード・スピードはSK telecom ユーザー

Opensignal のSK telecom ユーザーは、超高速な469.6 Mbpsで最速の平均5Gダウンロード・スピードを体感しました。韓国のオペレーターはLG U+とKTは、それぞれ429.6 Mbpsと381.9 Mbpsのスコアを持つ5Gダウンロード・スピードのグローバル・リーダーです。

### 5G ゲーム・エクスペリエンスのトップはSK テレコムと

#### KT

KT とSK テレコムは、5G ゲーム・エクスペリエンスのグローバル勝者であり、100ポイント満点中90.5～90.9ポイントのスコアを獲得しました。韓国のLG U+は、5Gを使ったマルチプレイヤー・ゲームのグローバル・リーダーであり、スイスのSalt、チェコ共和国のT-Mobile、香港のcslと並んで3位に入りました。

### 5Gビデオ・エクスペリエンスのグローバル勝者3社中2社がスウェーデン

3社の統計的同点により、Tele 2とTelia（どちらもスウェーデン）、ならびにスロベニアのTelemachを使っているOpensignal ユーザーは、最高の5Gビデオ・ストリーミング・エクスペリエンスを体感し、3社は100ポイント満点中82.8～84.1ポイントの統計的同点で5Gビデオ・エクスペリエンスのグローバル勝者となりました。

### 世界最速の5Gアップロード・スピードはスウェーデンのTelia ユーザー

50.9 Mbpsという驚異的な高速スコアで5Gアップロード・スピードを達成した単独の5Gグローバル勝者がTeliaです。Teliaは、チェコ共和国のT-Mobile、ノルウェーのTeliaとTelenor、スウェーデンのTele2、オランダのKPNなど、同率2位（統計的同点の41.1～43.3 Mbpsのスコア）の5社を7.5 Mbps以上大きく引き離して勝利しました。

### 4Gより1000%以上高速な5Gダウンロード・スピードを実現したのは、4社のみ

5Gはユーザーの平均ダウンロード・スピードに非常にプラスの影響を与えました。イスラエルのHot Mobileを利用しているOpensignal ユーザーは5Gを使用時の平均ダウンロード・スピードが4G比

較で 1183.3%という非常に素晴らしい向上を達成しました。次点はチリの Movistar (1084.5%)、アラブ首長国連邦の du (1051.9%)、イスラエルの Partner (1014.7%) でした。

### 5G のグローバル・インパクトの 4 指標すべてでトップ 30 に入ったのは 5 社

5G グローバル・インパクトとは、5G を 4G と比較してユーザーが体感した向上率です。イスラエルの Hot Mobile と Partner、フィリピンの Globe と Smart、アラブ首長国連邦の du の 5 社が 4 つの 5G グローバル・インパクト・カテゴリーすべてで認められるという見事な結果になり、ダウンロード・スピード、アップロード・スピード、ビデオ・エクスペリエンス、ゲーム・エクスペリエンスのすべてで 5G のグローバル・インパクトにランクインしました。

### フィリピンの Globe ユーザーは 5G ビデオ・エクスペリエンスで最高の向上を体感

Opensignal の Globe ユーザーは、4G (ビデオ・エクスペリエンス – 5G グローバル・インパクト) と比較して 5G でのビデオ・ストリーミング・エクスペリエンスで最大の上昇を記録しました。ビデオ・エクスペリエンスのスコアが 89% 向上し、さらに Globe は 5G グローバル・インパクト・スコアでユーザーに 39.6% の向上を 5G で体感させ、2 番目に高いゲーム・エクスペリエンスを記録しました。

#### ○ 日本の主な特徴

- NTT ドコモと SoftBank は、4 つのカテゴリーにまたがり 5G グローバル・ライジング・スターと評価されました。これは 2021 年前半から 2022 年前半にかけてユーザーの 5G エクスペリエンスを大幅に改善したということの意味です。2 社ともに 5G 利用率、5G 到達率、5G ゲーム・エクスペリエンスにおける 5G グローバル・ライジング・スターです。また、NTT ドコモは 5G のダウンロード・スピードの 5G グローバル・ライジング・スターであり、SoftBank は 5G のアップロード・スピードの 5G グローバル・ライジング・スターです。国内のライバルと同様、au は 5G 利用率と 5G 到達率での 5G グローバル・ライジング・スターです。
- SoftBank は日本のオペレーターの中で、前年比 192.4% で最大かつ目覚ましい 5G 利用率改善を果たしました。その後には au (130.5%) と NTT ドコモ (103.4%) が続きました。同様に SoftBank、au、NTT ドコモそれぞれの Opensignal ユーザーは、5G 到達率が前年比 216.2%、154.1%、121.5% の改善を体感しました。
- 2021 年上半期から 2022 年上半期にかけて stc Kuwait (前年比 33.4% 増) の次点で NTT ドコモの Opensignal ユーザーは 5G ゲーム・エクスペリエンスの大幅な向上を体感しました。SoftBank ユーザーは 0.9% 増の体感でしたが、これは 5G ゲーム・エクスペリエンスにおける 5G グローバル・ライジング・スターとなるに十分でした。
- NTT ドコモの 5G ダウンロード・スピードの 5G グローバル・ライジング・スターのステータスは、Opensignal ユーザーが 2021 年上半期から 2022 年上半期までに体感した 5G ダウンロード・スピード平均が 15.2% 増加したことによるものです。
- SoftBank は 2022 年前半に 100 ポイント満点中 85.6 ポイントのスコアを獲得した 5G ゲーム・エクスペリエンスのグローバル・リーダーです。楽天は 5G ゲーム・エクスペリエンスのカテゴリーで 5G グローバル・ハイパーフォーマーとして 81.1 ポイントのスコアとなり、順位を 1 つ下げました。

注：内容は、英語版の翻訳です。日本語との内容に不整合がある場合、英語版が優先されます。

## Opensignal について

Opensignal は、コンバージド、ワイヤレス、及び、ブロードバンド・オペレーター全体のネットワーク体感とマーケット・パフォーマンスを統合し、独立した知見とデータの世界的な大手プロバイダーです。当社の公開レポートは、ネットワーク・エクスペリエンスをベンチマークするための世界標準として認められています。当社の顧客中心の総合的なソリューションは、通信プロバイダーがネットワークを改善し、商業パフォーマンスを最大化し、すべての接続を改善できるようにする前例のない知見を生み出します。同社は米国、カナダ、英国に本社を置き、南米とアジアに営業拠点を構えています。

Opensignal および Opensignal のロゴは、Opensignal、Ltd の商標または登録商標です。言及されているサードパーティーの商標は、それぞれの所有者の財産です。

---

本件に関する問い合わせ先  
Opensignal 広報担当  
Rebecca Adewale  
[rebecca.adewale@opensignal.com](mailto:rebecca.adewale@opensignal.com)

Opensignal 広報代理  
担当：清水  
[opensignal@jspin.co.jp](mailto:opensignal@jspin.co.jp)